

令和7年度



# 園だより 3月号

杉並区立下高井戸子供園

教育目標 “しあわせいっぱいの子供園”

○もりもりそだつげんきなからだ ○たいせつななかまとじぶん ○かんじるころとあたま

令和7年度の終わりに…

園長 原 麻弓

令和7年度も残すところ、あとひと月となりました。  
ひと月と言っても実際の登園日数は20日前後です。

進級を控えるうさぎ組・くま組では、一人ひとりの  
楽しんでいることやできるようになったこと、今まさに  
がんばっていることを丁寧に読み取り、一つ学年が  
大きくなることに期待をもてるようにしています。

小学校進学を控えるぞう組では、仲間と一緒に過ごす  
残りわずかな日々が充実したものになるよう、たっぷり  
遊びながら、修了に向けた取組の準備も進めています。

進級・進学を迎えるこの時期は、保護者の皆様にと  
ってもどことなく落ち着かないかもしれません。  
心配なことに意識が向きすぎてしまうこともあります。

そんな時はぜひ目の前のお子様の姿を、そして寝顔  
をご覧ください。

こんなことを楽しんでいるんだ…  
こんなことを考えているのかもしれない…  
これからきっともっとすてきになる…

育ちゆく子どもたちの少し先の未来を楽しみにして  
成長を感じていけるといいですね。



春を代表する日本の木と言えば『桜』。  
桜は、開花前の冬が寒ければ寒いほど春になると  
色の濃い美しい花を咲かせるそうです。

もし今日が、あるいは子供園での生活の日々の中  
で、これから先の生活の中で、思いもよらない  
悲しいことやつらいことに向き合わなければなら  
なくなるとき、寒い冬を乗り越えて美しく咲く桜の  
ことを思い出していただければと思います。



令和7年度の下高井戸子供園の教育・保育への多  
大なるご理解とご協力を賜りました。保護者の皆様、地  
域の皆様にはこの場を借りて感謝申し上げます。

ありがとうございました。

あとひと月、子供園での遊びや生活が子どもたち  
にとって楽しいものとなりますよう、教職員一同  
教育活動を進めてまいります。どうぞよろしく  
お願いいたします。

また、今年度いただきました保護者の皆様から  
のご意見・ご提案等を次年度以降の教育・保育に  
生かし、よりよい子供園の運営を推進してまい  
ります。